



袋井あやぐも学園
袋井市立袋井中学校だより



— 自主・協同 —

～夢を追い続ける生徒の育成

令和5年3月17日発行

幼小中一貫カリキュラムにより自主（Iの力）と（Weの力）を育成する学園

令和4年度が終わります

令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、生徒が安心、安全に学校生活を送れるように進めてきました。彩雲祭（体育大会）、あやぐも祭（合唱コンクール）、修学旅行、授業参観などの学校行事は、保護者の皆様の御理解と御協力により、予定されていた行事を無事に行うことができました。来年度も、どうぞよろしく願いいたします。

<令和4年度修了式 校長式辞より（一部抜粋）>

私からは、今年一年間のみなさんの取組を振り返って話をしたいと思います。

令和4年度の4月の始業式では、新年度にあたり2つの話をしました。

一つは、袋井中学校の校訓についてでした。「自主」「協同」の精神のもと、自分で考えて判断し行動することや、周りの人と協力していくことが大切であるということ。そして、本年度は、行事面だけでなく、委員会活動や係活動、学習面においても自分で考えて行動することを重視してほしいということでした。

もう一つは、世界に目を向けてほしいということでした。今から約1年前の令和3年2月24日にロシアがウクライナに侵攻したことから、ウクライナで起こっていることに目を向け、自分たちで何ができるかを考えてください、ということをお話ししました。このことについては、生徒会本部が中心となって何ができるかを考え、実際に生徒の皆さん一人一人が英語でウクライナへのメッセージを書き、募金活動を実施したことはとても価値ある取組でした。また、メッセージをアザレアセブンのウクライナ出身選手であるナタリヤ・コザチュクさんに見せることができたことは、私もとてもうれしく思いました。

最初の校訓に関することでは、彩雲祭やあやぐも祭の行事面においては、昨年度に引き続き生徒のみなさんが主体的に行動した姿が多くのところで見られました。さらに、今年度は、委員会活動や係活動においても自分たちでこんなことをしてみようという取り組んだ活動があったことを先生方から伺いました。

例えば、図書委員会では読みたい本を選定や、お勧めの本の紹介活動。学習委員会では、テストの予想問題づくりやテスト勉強のアドバイスの発行。生活委員会では、心づくりDAYのアンケートをもとに、自分の生活の様子について振り返ってより良い学校生活について検討。生徒会では、生徒会ラジオでの各学年代表生徒のインタビューや、ピンクシャツウィークでの生徒ホールでのピンクハートづくり、生活委員長も交えての生活見直し検討会などです。これ以外の委員会でもいろいろな取り組みがありました。さらに、各学級の係活動においても、自分たちでこうしたら学級がよくなるという取組をしていました。



令和5年度には、これらの取組を継続して、生徒のみなさんが学校をより良くするためのアイデアを出して、自分たちで運営していくことと、そしてみんなで協力してさらに取り組んでいくことを期待しています。

さて、ここでみなさんに見せたいものがあります。これは地球ゴマという私が子供のころに流行ったものです。ジャイロ効果というものにより、ジャイロ（Gyro）には、回転や輪という意味であり、ジャイロ効果とは、一般的には、高速回転中の回転体はその回転軸を保とうとする現象のことで

あり、物体が自転運動をすると姿勢を乱されにくくなることです。（3つの実験を行う）

いかがだったでしょうか。自転回転をして軸がしっかりしているぶれなくなります。このことから皆さんにも自分の軸をしっかりもって多少の困難があっても自ら歩いてほしいと願っています。そして、それを「自軸を持つ」という言葉でみなさんに伝えたいと思います。これは、ちなみに鳴門教育大学の久我直人先生から教えていただきました。

また、金沢大学の金間大介教授の著書に「いい子症候群の若者たち」というものがあります。対象は大学生ですが、簡単にいうと周りの人から目立ちたくない、自分で何かを決められないなど、周りの人のことを過度に気にして、自分らしく生きられない若者がいるということです。



冒頭でも言いましたが、これからの社会を生きるみなさんには、失敗してもいいから自分で判断して行動することを積み重ねてほしいです。困難なことがあり、ぶれそうになるかもしれませんが、そこは先ほどの自軸をもって突き進んでほしいです。これがいわゆる校訓の「自主」です。周りの人の意見も聞いて、自分の考えが正しいかどうかを振り返りながら、自分で決めたことを追求していく。状況によってはみんなで力を合わせて、より良いものにしていく姿勢が大切です。それが「協同」にあたります。

令和5年度も「自軸をもって」一人一人が自分の目標に向かって、困難なことがあっても自らの力で前進していくことを期待し、令和4年度修了式の言葉とします。

教育振興会 芸術鑑賞会・表彰式

3月7日(火) 芸術鑑賞会



3月13日(月) 表彰式



芸術鑑賞会では、劇団民話芸術座による手塚治虫原作の「雨降り小僧」の演劇鑑賞を行いました。目の前で行われる演劇には大変迫力があり、舞台に登場する人物とともに一喜一憂しながら楽しい時間を過ごすことができました。

また、教育振興会表彰では、今年度一年間の中で頑張った生徒（努力賞・善行賞（今年度は該当者なし）・健闘賞【文化部門・運動部門】）の生徒へ賞状が授与されました。

教育振興会の事業は、袋井中校区の地域の皆さんの支援によるものです。